

公益財団法人身体教育医学研究所

令和元年度事業報告

(平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日まで)

I.法人の概況

1. 設立年月日

平成 11 年 (1999 年) 5 月 15 日 研究所開所 (社会福祉法人みまき福祉会内)

平成 21 年 (2009 年) 2 月 2 日 一般財団法人設立

平成 23 年 (2011 年) 3 月 22 日 公益財団法人認定 (長野県)

2. 定款に定める目的 (定款第 3 条)

この法人は、身体に関わる様々な事象について、従来の保健・医療・福祉・介護・教育・スポーツ等の諸分野を総合させた調査研究・分析評価・教育啓発活動を行い、「からだを育む」ことを通した全ての人々の健康づくりと公共政策づくりに寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容 (定款第 4 条)

定款第 4 条に定める事業区分	公益認定に伴う公益目的事業の区分
(1) 身体教育医学に関する調査研究	(公 1) 身体教育医学に関する調査研究事業 ※左記の (1) と (2) の一部、(8) が原則該当
(2) 調査研究事業、 健康づくり事業等の受託及び協力	
(3) 講演会、健康づくり教室等への講師派遣	(公 2) 健康づくりに関する事業受託、講演会・教室への 講師派遣、相談指導等の教育啓発事業 ※左記の (2) の一部～(4) と (8) が原則該当
(4) 健康づくりに関する相談及び指導	
(5) 講演会、講習会、研究会等の開催	(公 3) 法人主催の研修会、出版物の発刊、収集した文献 の一般公開等による情報発信事業 ※左記の (5) ～(8) が原則該当
(6) 学術機関誌・一般啓発用資料他出版物等の発行	
(7) 身体教育医学に関する文献等の収集及び閲覧	(※は、定款事業区分と公益目的事業区分との対応を記載)
(8) その他この法人の目的を達成するために必要な事業	

4. 所管官庁に関する事項

長野県 総務部 情報公開・法務課

5. 主たる事務所の状況

長野県東御市布下 6 番地 1 ケアポートみまき内

6. 職員に関する事項 (令和 2 年 3 月 31 日現在)

職員数 (臨職数)		前期末比増減 (臨職数)	平均 年齢	平均勤続 年数	備考
男 子	5 名(1)	0 名(0 名)	41.0 歳	8.20 年	
女 子	4 名(3)	1 名(1 名)	44.3 歳	13.3 年	平成 31 年 4 月新規雇用 1 名 (指導員)
全 体	9 名(4)	1 名(1 名)	42.6 歳	10.8 年	

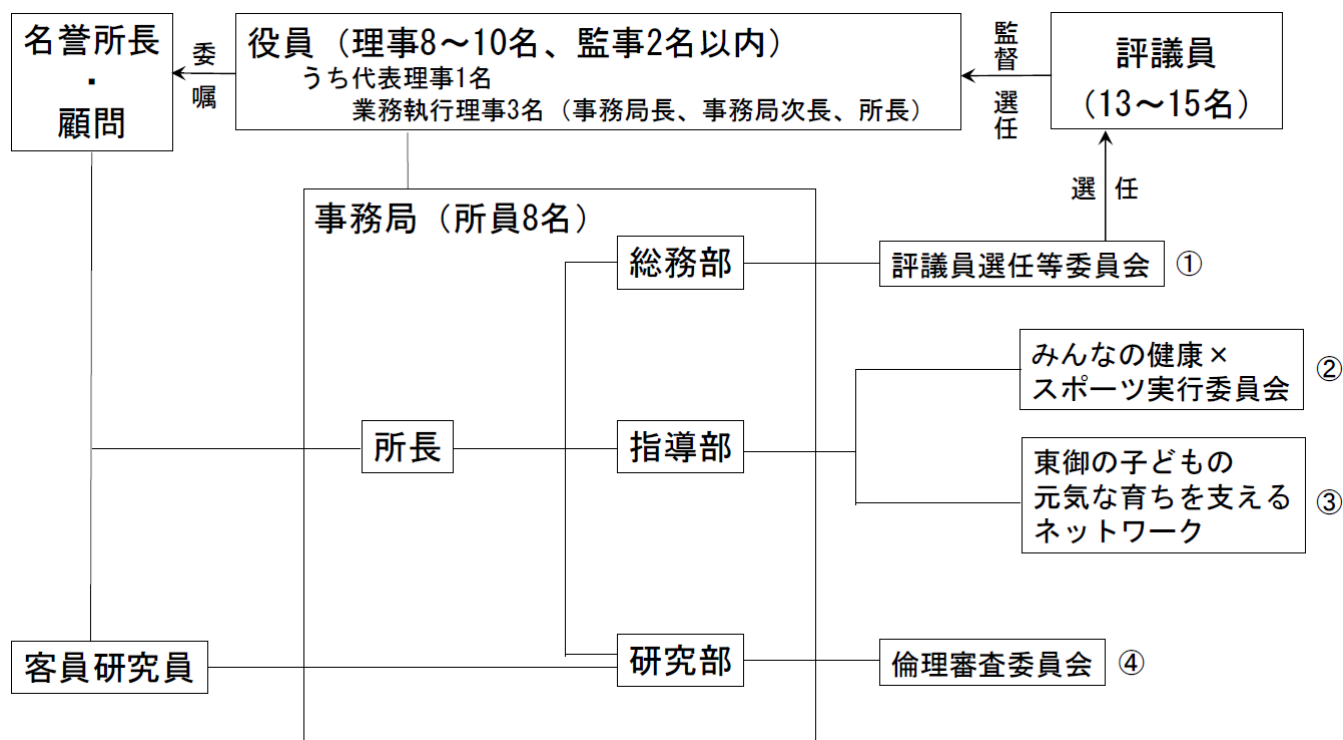
7. 名誉所長、顧問、客員研究員に関する事項（令和2年3月31日現在）

役 職	氏 名	常勤・非常勤	現 職
名誉所長	武藤 芳照	非常勤	東京健康リハビリテーション総合研究所・所長
顧問	太田 美穂	非常勤	NPO 法人水と健康スポーツ医学研究所・理事長
顧問	桂川 保彦	非常勤	株式会社スポーツデザイン研究所・首席研究員
顧問	木村 貞治	非常勤	信州大学医学部保健学科・教授
客員研究員	加藤 美絵	非常勤	元身体教育医学研究所・研究員
客員研究員	金藤 理絵	非常勤	東御市企画振興部文化・スポーツ振興室・湯の丸高原特設プール PR 大使
客員研究員	鎌田 真光	非常勤	東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻・助教
客員研究員	小松 泰喜	非常勤	日本大学スポーツ科学部・教授
客員研究員	佐藤 照友旭	非常勤	東御市企画振興部文化・スポーツ振興室・スポーツ振興専門官
客員研究員	高橋 亮輔	非常勤	日本大学理工学部・准教授
客員研究員	朴 相俊	非常勤	佐久大学看護学部・准教授
客員研究員	朴 眩泰	非常勤	韓国・東亜大学医学生命工学科・教授

8. 役員等に関する事項（令和2年3月31日現在）

役 職	氏 名	常勤・非常勤	現 職
評議員	青木 周次	非常勤	東御市議会・議員
評議員	飯島 裕一	非常勤	信濃毎日新聞社・特別編集委員
評議員	石和 大	非常勤	長野県議会・議員
評議員	内山 三男	非常勤	東御市工業振興会・代表
評議員	掛川 卓男	非常勤	㈱信州東御市振興公社・取締役総務部長
評議員	久堀 周治郎	非常勤	社会福祉法人みまき福祉会・理事長
評議員	小林 峯雄	非常勤	社会福祉法人東御市社会福祉協議会・会長
評議員	小山 隆文	非常勤	東御市・教育長
評議員	茅野 隆徳	非常勤	社会福祉法人ちいさがた福祉会・常務理事
評議員	鶴田 武夫	非常勤	NPO 法人東御市体育協会・会長
評議員	檜原 みち代	非常勤	東御市民生児童委員協議会・主任児童委員
評議員	日向 一夫	非常勤	長野県上田保健福祉事務所・副所長
評議員	堀内 ふき	非常勤	佐久大学・学長
評議員	柳沢 和子	非常勤	東御市立和保育園・元園長
評議員	結城 敬	非常勤	東御市民病院・院長
代表理事	田丸 基廣	非常勤	東御市・副市長
業務執行理事 （事務局長）	吉澤 健二	非常勤	東御市・健康福祉部長
業務執行理事 （事務局次長）	翠川 昌博	非常勤	社会福祉法人みまき福祉会・常務理事
業務執行理事	岡田 真平	常勤	公益財団法人身体教育医学研究所・所長
理事	奥泉 宏康	非常勤	東御市立みまき温泉診療所・所長
理事	北湯口 純	非常勤	身体教育医学研究所うなん・主任研究員
理事	工藤 保子	非常勤	大東文化大学スポーツ・健康科学部・准教授
理事	三溝 和子	非常勤	東御市スポーツ推進委員会・代表
理事	中村 崇	非常勤	一般社団法人健康福祉広域支援協会・代表理事
監事	北澤 昌雄	非常勤	東御市監査委員会・代表監査委員
監事	佐藤 千枝	非常勤	東御市議会・議員・監査委員

9. 組織図



※各委員会の構成

①評議員選任等委員会（5人）

評議員 1 人、監事 1 人、事務局員 1 人、外部委員 2 人

②みんなの健康×スポーツ実行委員会

市身体障害者福祉協会、市手をつなぐ育成会、陽だまりの会、ぴかそくらぶ、はこべの会、市、市教育委員会、市スポーツ推進委員会、(特非)市体育協会、長野県ボッチャ協会、(福)みまき福祉会、(福)市社会福祉協議会、(福)ちいさがた福祉会、(公財)身体教育医学研究所（事務局）

③東御の子どもの元気な育ちを支えるネットワーク（20人以内）

- (1)公益財団法人身体教育医学研究所関係者
- (2)東御市及び周辺地域の教育・福祉関係者
- (3)東御市役所内関連部署関係者
- (4)識見を有する者

④倫理審査委員会（5人以上）

- (1)医学・医療の専門家等、自然科学の有識者が含まれていること
(福)みまき福祉会（理事長）、市立みまき温泉診療所（所長）、東京農業大学（教授）
- (2)倫理学・法学の専門家等、人文・社会科学の有識者が含まれていること
(福)みまき福祉会（理事長職務代理）
- (3)研究対象者の観点も含めて一般の立場から意見を述べることのできる者が含まれていること
学識経験者
- (4)委員会の設置者の所属機関に所属しない者が複数含まれていること
- (5)男女両性で構成されていること
- (6)5人以上であること

Ⅱ. 事業の状況

1. 事業の実施状況

令和元年度は、平成 28 年度からの第 2 期中期計画の最終年度として、掲げた基本理念と目的に沿って、当年度の重点課題を定めたうえで各種事業に取り組んだ。

**～第 2 期中期計画の基本的考え【コンセプト】と社会的使命【ミッション】～
「からだを育み、こころを育み、きずなを育む」研究と実践を地域(信州・東御)から発信する**

私たち「しんたい」は、保健・医療・福祉・介護・教育・スポーツ等の諸分野にまたがる調査研究・教育啓発・情報発信等の活動を地域で実践し、各活動に関連する幅広いネットワークを生かすことによって、誰もが「からだを育み、こころを育み、きずなを育み」ながら、地域で健やかに暮らし続けることができるための公共政策づくりに寄与します。

まず要旨として、年度当初の事業計画に記載した以下の重点課題に沿って事業の概況を報告する。

<重点課題>

1. 第 2 期中期計画（2016－2019）の最終年度として、法人の持続的発展に向けた取り組みを継続するとともに、研究所設立 20 周年を今後活かす重要な節目と捉え、第 3 期に向けた準備を進める。
2. 事業内容に沿った調査研究活動を精力的に進め、研究成果等をわかりやすく発信する。（公 1， 3）
3. 理念に沿った地域に貢献する教育啓発活動を行い、地域との協働による取り組みを進める。（公 2）

①重点課題（1）

第 2 期中期計画（2016－2019）の最終年度として、法人の持続的発展に向けた取り組みを継続するとともに、研究所設立 20 周年を今後活かす重要な節目と捉え、第 3 期に向けた準備を進める。

正規職員 5 名（うち 1 名育休）と臨時職員 4 名の体制で、多様な業務と 20 周年事業を円滑に遂行できるよう、各部門や各所員の役割の明確化を図るとともに、地域との協働による活動をさらに推進するなど、限られた人員の中で活動の質を高める仕組みづくりに継続的に取り組んできた。

業務上では、研究、実践の両面において、幅広いネットワークの中で連携をコーディネートする役割の重みがさらに増しており、調査研究事業と教育啓発事業の展開における当研究所の強みとなっている。

今年度迎えた研究所設立 20 周年を節目に、今後に向けてさらに組織体制や活動内容を充実・発展できるように、地域からの特色ある発信とシンクタンク機能の強化を進めている。

収支全般の状況で報告すべき主な点は次の通り。

項目	令和元年度	平成 30 年度	対前年増減額	前年対比
経常収益計	45,913,010	50,564,138	-4,651,128	91%
事業収益	20,904,582	29,889,949	-8,985,367	70%
調査研究事業	0	308,000	-308,000	0%
受託協力事業	17,107,022	25,438,165	-8,331,143	67%
受取補助金等	8,481,000	6,525,000	1,956,000	130%
受取寄附金	16,527,216	14,148,896	2,378,320	117%
経常費用計	53,193,924	51,373,808	1,820,116	104%
事業費	51,409,336	49,723,730	1,685,606	103%
当期経常増減額	-7,280,914	-809,670	-6,471,244	899%
一般正味財産期末残高	14,996,464	22,866,623	-7,870,159	66%
指定正味財産期末残高	6,000,000	11,000,000	-5,000,000	55%
正味財産期末残高	20,996,464	33,866,623	-12,870,159	62%

今年度は、前年度の正味財産期末残高 33,866,623 円から 20,996,464 円へと減少した。しかし、これは、公益法人の収支相償の考え方に基づいて、将来の特定の活動のための特定費用準備資金として積み立ててきたものを、指定した目的に沿った事業（パラ支援、事業拡充、二十周年事業）を実施するために支出計画通りに取り崩した結果であり、公益財団法人の会計としては健全な会計運用がなされたと考えられる。

ただし、年度によって経常収益・費用の変動が大きい状況も考慮すると、改めて長期的な資金の見通しが立つ財源を確保し、より安定した持続可能な体制を確立していくことが今後必要である。

②重点課題（2）

事業内容に沿った調査研究活動を精力的に進め、研究成果等をわかりやすく発信する。（公 1， 3）

令和元年度も継続的に、地域の要望に応じたテーマと研究所が主体的に取り組むテーマとを融合させて、市の健康福祉や教育関連の分析業務を行うとともに、高地プール関連の整備推進にかかる業務や湯の丸のプロモーション事業などを実施してきた。また、東御市湯の丸高原を会場に国内外の研究者・実践者を対象に開催された第22回高所トレーニング国際シンポジウムでは、大会長の任を担った。加えて、東京健康リハビリテーション総合研究所との協働により「湯の丸高原を活用したパラリンピックアスリート支援及び健康リハビリテーション・介護予防に関するプログラム開発」に取り組み、教育啓発等に活かす基礎資料を作成した。

調査研究活動（分担研究・共同研究含む）のアウトプットとしては、自己資金・外部資金による調査研究実績5件、学術論文実績7件、編著書6件、学会発表9件があった。なお、主任研究者としての研究成果の発信や、所員が主体的に取り組む研究の質・量の向上、そして文部科学省の研究機関の指定等を活用しての競争的資金の獲得については課題のまま残っており、それらの解決に向けた取り組みが必要である。

毎年恒例の「しんたい学会」（昨年度110人参加）は、今年度20周年事業があり別途開催しなかったが、20周年記念イベントを含む法人主催の研修会として計12回開催し、のべ1,764人にのぼる地域関係者の参加があり、研究所から地域に向けて様々な情報発信を行うことができた。

また、関係する各種団体への役員等の関わりは27件（前年度27件）、書籍・新聞・雑誌等への掲載は70件（前年度61件）、外部関係機関との連携事業は42件（前年度64件）であった。

③重点課題（3）

理念に沿った地域に貢献する教育啓発活動を行い、地域との協働による取り組みを進める。（公2）

教育啓発事業の規模を件数及び対象人数で示し、前年度と比較すると、健康づくり事業は484件（前年度626件の77%）、10,592人（同15,039人の70%）、講演会、教室等への講師派遣は81件（同95件の85%）、3,484人（同4,221人の83%）、相談及び指導は78件（同81件の96%）、2,793人（同3,236人の86%）で、合計643件（同802件の80%）、16,869人（同22,496人の75%）であった。

前年度同様、令和元年度も、直接指導から人材育成に働きかけが変わっているが、地域貢献に関わる業務量は変わらず大きい状況であった。中でも、健康づくりに関する相談及び指導に含まれる「みんなの健康×スポーツ実行委員会事業」と「東御の子どもの元気な育ちを支えるネットワーク事業」の2つの事業は、いずれも研究所が事業を組み立て、関係機関や地域ボランティア等の積極的な参画を得ての取り組みが定着するとともに、市や関連団体の関与もさらに強まってきており、法人が主体的に地域に働きかける事業として重要な位置づけになっている。

最後に、決算の安定化と事業の成長・充実・安定に向けた必要と考えられる取り組み（前年度までの事業報告にも記載）を列記する。

1、決算の安定化に向けて

ア、短期的な視点→しんたい応援寄附金の公募に幅広く取組み単年度収支の改善を図る⇒**会員制度検討**
イ、中期的な視点→特定資産の増強について関係当局と調整してその実現を図る⇒**29年度から改善**

2、「しんたい」の成長、充実、安定期を目指して

（1）シンクタンクらしい「持ち味」に加え「しんたい」ならではの「彩り」と「風味」が生まれる体制づくり

ア、研究所の主体性（受託事業に重点か、独自の研究分野は）の確立

イ、出資者の下請け機関化しない調整

ウ、所長・所員の裁量等の整然化

エ、研究着手・成果の関連性の目線の統一

オ、異文化とのコラボの追及・可能性への挑戦・対応

（2）「研究成果」「知らせる」「教える」「続ける」「広める」「評価」の体制作り

ア、続けるための知識集団から強力な知恵集団に向けての体制へ

イ、研究所だより（季報・年報）発行の必要性⇒**会員制度の検討と併せて準備**

ウ、しんたいの存在力アップ戦略

エ、人脈の拡充と組織化、著作権等知的財産の保護対策、情報ライブラリーのシステム化の実現

オ、研究学会分野に対する「しんたい」の貢献方策の在り方研究

（3）リスク管理に対する認識と実践

ア、各事業における安全管理配慮義務への留意

イ、機敏な対応に対する補償制度（職員自家用車公務使用の借り上げ制度と費用弁償のルール化の必要性）

(1) 身体教育医学に関する調査研究

1. 自己資金による調査研究事業

- ① 東京健康リハビリテーション総合研究所との協働事業「湯の丸高原を活用したパラリンピックアスリート支援及び健康リハビリテーション・介護予防に関するプログラム開発」(半田秀一：研究協力者)

2. 外部資金による調査研究事業

- ① 日本農村医学会・農村の生活習慣病部会「農業・農村の特性に着目した介護予防コホート研究」(岡田真平：分担研究者)
 - ② University of Wollongong (Australia)・桜美林大学国際共同研究－SUNRISE Study－「4 歳児における日常生活行動の国際比較に向けた予備的研究」(岡田真平：研究協力者)
 - ③ 長野県地域発元気づくり支援金「第 22 回高所トレーニング国際シンポジウムおよび啓発イベント事業」(公益財団法人身体教育医学研究所)
 - ④ 東御市・市社協補助事業「障がい児者の健康づくり運動実施支援」(岡田佳澄・半田秀一・上菌美千代：担当者)
-

3. 学術論文

- ① Park SJ, Imamura H, Soyano A, **Okada S**, Horiuchi F, Hamano T. Relationship between healthy elderly individual social capital and health according to ward level in Tomi City, Nagano Prefecture: An ecological study. *Journal of Rural Medicine* 14(1):64-72, 2019.
 - ② Abe T, Kitayuguchi J, **Okada S**, Okuyama K, Gomi T, Kamada M, Ueta K, Nabika T, Tanaka C. Prevalence and correlates of physical activity among children and adolescents: a cross-sectional population-based study of a rural city in Japan. *Journal of Epidemiology*, in press.
 - ③ Fukushima N, Abe T, Kitayuguchi J, Tanaka C, Amagasa S, Kikuchi H, **Okada S**, Tanaka S, Inoue S. Adherence to the Japanese physical activity guideline during early childhood among rural preschoolers: A cross-sectional study. *Journal of Epidemiology*, in press.
 - ④ **岡田真平**, 福島教照, 小田切優子, 高宮朋子, 菊池宏幸, 井上茂. 在宅自立高齢者の最大一歩幅と介護・死亡との関連：北御牧コホート研究. *東京医科大学雑誌*, 77(1):69, 2019.
 - ⑤ 安部孝文, **岡田真平**, 田中茂穂, 奥田昌之, 上田憲嗣, 田中千晶. 日本の子どもにおける日常の身体活動の実態およびその変動要因の国際比較に向けた評価法の確立 (3) 児童・生徒における身体活動量に関する変動要因の 47 都道府県間の比較および身体活動促進を目指した評価ツールの開発. *体力科学*, 68(1):60, 2019.
 - ⑥ 重松良祐, 片平謙弥, **岡田真平**. 自治体スポーツイベントの準備内容と参加率との関連—1 年間に何を準備すれば参加率が向上するのか—. *運動疫学研究*, 21(2):136-147, 2019.
 - ⑦ 堤裕美, 清水智博, 寺沢拓弥, 長岡慶将, **渡邊真也**. 自然との触れ合いの機会としての散歩のあり方と課題を探る—第 2 回やまほいく研修会の実践を通して—. *上田女子短期大学紀要*, 43:81-92, 2020.
-

4. 編著書

- ① **岡田真平**. 日本各地における温泉・森林を活用した健康づくり⑤身体教育医学研究所 (長野県). 温泉・森林浴と健康—自然の癒しから未病予防医学へ, pp132-137, 大修館書店, 2019.
 - ② **半田秀一**. 地域リハビリテーション. 信州東御・ケアポートみまき 地域ぐるみのケアと予防の歩み, pp77-79, 厚生科学研究所, 2019.
 - ③ **岡田真平**. 身体教育医学研究所の役割と成果. 信州東御・ケアポートみまき 地域ぐるみのケアと予防の歩み, pp98-101, 厚生科学研究所, 2019.
 - ④ **渡邊真也**. 子どもの元気な育ちを支える. 同上, pp103-105.
 - ⑤ **岡田佳澄**, ユニバーサルスポーツの取り組み. 同上, pp106-107.
 - ⑥ 北湯口純, **岡田真平**. 転倒予防に関する地域ケアシステムの動向. 転倒予防白書 2019, pp249-254, 日本医事新報社, 2019.
-

5. 学会発表

- ① **岡田真平**, **半田秀一**. 健康ポイント制度導入と併せたウォーキング実践環境整備の効果検証. 第 23 回日本ウォーキング学会長野大会, 野沢温泉, 5 月 11 日, 2019.
- ② Shigematsu R, **Okada S**. The connection between preparation and participation in municipal sporting events—How to prepare in one year to increase participation?. *International Society*

of Behavioral Nutrition and Physical Activity 2019 Annual Meeting, Prague, 5 June 2019.

- ③ 福島教照, 安部孝文, 北湯口純, 高宮朋子, 小田切優子, 菊池宏幸, 天笠志保, 町田征己, 岡田真平, 井上茂. 性・学年・就学前施設の種別別にみた幼児期運動指針の充足者割合に関する記述疫学的検討. 日本運動疫学会第22回学術総会, 横浜, 6月23日, 2019.
- ④ 馬場孝浩, 渡邊雅英, 荻原啓文, 半田秀一, 笹本和宏, 岡田真平, 奥泉宏康, 木村貞治. 足底感覚刺激用靴下が地域在住高齢者のバランス機能と歩行機能に及ぼす影響. 日本転倒予防学会第6回学術集会, 新潟, 10月6日, 2019.
- ⑤ 北湯口純, 岡田真平, 塩飽邦憲. 農村在住高齢者の社会環境要因と運動器疾患との関連: 横断研究. 第68回日本農村医学会学術総会, 帯広, 10月18日, 2019.
- ⑥ 福島教照, 安部孝文, 北湯口純, 天笠志保, 町田征己, 菊池宏幸, 佐藤弘樹, 高宮朋子, 小田切優子, 岡田真平, 井上茂. 就学前施設における保育者の幼児期運動指針の活用状況と幼児の体力・運動能力との関連. 第78回日本公衆衛生学会総会, 高知, 10月24日, 2019.
- ⑦ 花岡利夫, 佐藤照友旭, 岡田真平. 湯の丸高原スポーツ交流施設の現状とこれから (大会講演). 第22回高所トレーニング国際シンポジウム, 東御, 11月9日, 2019.
- ⑧ 渡邊雅英, 馬場孝浩, 荻原啓文, 半田秀一, 笹本和宏, 岡田真平, 奥泉宏康, 木村貞治. 介護予防事業に参加した地域在住高齢者における転倒リスク・スクリーニングの指標としての膝伸張筋力の発揮率の有用性. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会, 新潟, 11月30日, 2019.
- ⑨ 岡田真平, 半田秀一, 佐藤照友旭, 奥田鉄人, 武藤芳照. 高地トレーニング用プールでのパラリンピック競泳アスリート合宿受入の現状と課題. 第29回日本障がい者スポーツ学会, 佐賀, 2月15日, 2020.

(2) 調査研究事業、健康づくり事業等の受託及び協力

1. 調査研究事業

- ① 東御市健康保健課「5地区別健康課題資料作成業務」「特定健診データ集計・分析業務」「健康づくり計画 (後期計画) 作成データ分析等」「自殺対策事業評価分析業務」: 岡田真平他
- ② 東御市福祉課「地域支援事業評価分析事業」: 岡田真平
- ③ 東御市子育て支援課「第2期子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査分析業務」: 岡田真平・渡邊真也
- ④ 東御市文化・スポーツ振興課「湯の丸ツーリズムプロジェクトプロモーション事業」「湯の丸高原屋内運動施設 (特設プール) プロモーション事業」: 岡田真平・半田秀一
- ⑤ 東御市教育委員会「小中学校体力向上支援事業」評価分析: 岡田真平・渡邊真也
- ⑥ 公益財団法人日本水泳連盟「高地トレーニング拠点・プール施設整備推進関連業務」: 岡田真平

	件数	のべ人数
2. 健康づくり事業等	計 484 件	計 10,592 人
① 東御市健康保健課健康増進係		
1) 運動教室等指導事業 (集団)	18	666
2) 特定健診受診者運動教室指導事業 (集団)	15	102
3) 健康づくり運動教室指導事業 (集団)	11	96
4) 糖尿病性腎症重症化予防運動指導業務 (集団)	7	62
5) 5地区別健康課題資料作成業務	3	120
② 東御市健康保健課保健係		
1) 心の健康づくり Web 広報啓発事業	-	-
2) 心の健康づくり精神保健講演会事業	-	-
③ 東御市福祉課高齢者係		
1) 介護予防把握事業 (健脚度測定、ずく出し教室)	71	1,357
2) 地域リハビリテーション活動支援事業	19	227
3) 介護予防指導員派遣事業	13	210
④ 東御市福祉課福祉援護係 障害者余暇活動支援事業		
※(4)健康づくりに関する相談及び指導 みんなの健康×スポーツ事業の実績に含む	-	-
⑤ 東御市子育て支援課		
1) 運動指導等講師派遣業務	27	938

2) 東御の子どもの元気な育ちを支える事業	21	433
⑥東御市教育委員会生涯学習課社会教育・公民館係		
1) 高齢者大学	2	52
⑦東御市企画政策部文化・スポーツ振興室		
1) チャレンジデー2019 運動指導	4	548
2) 総合型地域スポーツクラブ設立検討会議並びに設立準備委員会	8	120
⑧東御市学校教育係 小中学校体力向上支援事業	7	603
⑨東御市民病院庶務係		
1) みまき温泉診療所 リハビリ指導助手	23	344
2) みまき温泉診療所 リハビリテーション業務	94	523
⑩社会福祉法人みまき福祉会 健康づくり事業		
1) 温泉アクティブセンター	13	23
2) 特別養護老人ホームケアポートみまき	43	768
⑪立科町		
1) はつらつウォーキング教室	9	216
2) いきいきストレッチ教室	8	349
3) からだスッキリプロジェクト	2	18
4) 筋力アップ教室「たのきん教室」	0	0
5) 町立保育園運動あそび指導業務	38	1,480
6) 立科小学校運動遊び	10	970
⑫坂城町 生活習慣改善チャレンジ教室	3	43
⑬公益財団法人日本水連連盟		
1) 高所トレーニング拠点・施設整備推進委員会専門部会	1	21
⑭その他		
1) 東御市田楽平区健康サロン	10	75
2) 東御市北御牧地区友遊クラブ(みまきっ子体験クラブ)	4	228

(3) 講演会、健康づくり教室等への講師派遣	計 81 件	計 3,484 人
1. 授業講師		
① 上田女子短期大学	11	118
② 長野救命医療専門学校(後期)「運動学」	14	154
③ 東御清翔高等学校「表現ステージ」	7	83
④ 佐久大学	3	87
⑤ 北御牧中学校「キャリア学習」	1	20
2. 講演会、健康づくり教室講師：依頼に応じて随時対応【別表】	45	3,022

(4) 健康づくりに関する相談及び指導	計 78 件	計 2,793 人
1. FMとうみ：情報番組「市民情報広場」(午前8:35～8:50)谷貴人他	毎月2回	
2. みんなの健康×スポーツ実行委員会事業		
「わくわくスポーツクラブ」(ボッチャ)	7	310
3. 東御の子どもの元気な育ちを支えるネットワーク事業		
里山探検活動「キラキラ」(2-3歳児の親子活動)	20	746
里山探検活動「ドキドキ」(年中から小1の子ども活動)	17	562
里山探検活動「ニコニコ」(親子自然体験活動)	10	646
里山探検事業お泊り会	1	77
ボランティア研修会(安全管理講習、フィールドリーダー会議)	12	79
その他イベント(森を守ろうコンサート等)	11	373

(5) 講演会、講習会、研究会等の開催

のべ 1,764 人

1. みんなの健康×スポーツ実行委員会事業		
① 「みんなのスポーツ」体験会（兼しんたい 20 周年記念イベント）	6/15 開催	96
② 長野県民パラスポーツ大会	9/29 開催	78
③ 信州チャレンジスポーツ DAY2019 ユニバーサルリレー	10/12 中止	-
2. しんたい 20 周年記念イベント【詳細別記】		
① みんなのための「筋肉」の話	4/20 開催	98
② オラホの地域の健康状況について	5/23 開催	192
③ 湯ノ丸高原ウォーキング	7/20 開催	35
④ 里山探検	8/20 開催	58
⑤ 日本体育大学体操部発表会	8/29 開催	970
⑥ 開所 20 周年記念式典・祝賀会	8/31 開催	146
⑦ ポールウォーキング	9/20 中止	-
⑧ 湯の丸高原スポーツ交流施設見学ツアー	10/20 開催	25
⑨ ケアポートみまきでプール体験	11/20 開催	30
⑩ はじめてのジャイロキネシス	12/20 開催	36

(6) 学術機関誌・一般啓発用資料他出版物等の発行

1. 信州東御・ケアポートみまき 地域ぐるみのケアと予防の歩み（厚生科学研究所）
2. 公益財団法人身体教育医学研究所 20 周年記念誌
3. 高地トレーニングってなに？（東京健康リハビリテーション総合研究所への委託事業の成果物）

(7) 身体教育医学に関する文献等の収集及び閲覧

1. 研究所図書室の充実 図書 2,045 冊

(8) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

1. 各種団体役員等
 - 1) 公益財団法人運動器の健康・日本協会理事（岡田真平）
 - 2) 社会福祉法人みまき福祉会理事（岡田真平）
 - 3) 身体教育医学研究所うなん運営委員（岡田真平）
 - 4) NPO 法人日本健康運動指導士会長野県支部副支部長（岡田真平）
 - 5) 日本転倒予防学会総務担当理事（岡田真平）
 - 6) 信州公衆衛生学会理事・編集委員（岡田真平）
 - 7) 日本運動疫学会編集委員・プロジェクト研究委員（岡田真平）
 - 8) 日本障がい者スポーツ学会理事（岡田真平）
 - 9) 一般財団法人浅間山麓スポーツ医学研究所幹事（岡田真平）
 - 10) 公益財団法人健康・体力づくり事業財団・指導者養成カリキュラム検討委員（岡田真平）
 - 11) とうみユニバーサルスポーツクラブ理事・NPO 法人東御市体育協会評議員（岡田真平）
 - 12) 東御市民間介護・福祉事業所連絡会地域包括・ネットワーク部会長（岡田真平）
 - 13) 御牧ふれあいの郷づくり協議会生活環境部会長（岡田真平）
 - 14) 東御市スポーツ推進審議会委員（岡田真平）
 - 15) みんなの健康×スポーツ実行委員（岡田真平・半田秀一・岡田佳澄）
 - 16) 東御の子ども元気な育ちを支えるネットワーク協議体委員（岡田真平・渡邊真也）
 - 17) 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー長野県協議会副会長（半田秀一）
 - 18) 日本障がい者スポーツ協会・指導者協議会トレーナー部会北信越ブロック代表（半田秀一）
 - 19) 高所トレーニング環境システム研究会専門委員（半田秀一）
 - 20) 総合型地域スポーツクラブ NPO 法人うえだミックススポーツクラブ理事（渡邊真也）
 - 21) 北御牧名立友好協会幹事（渡邊真也）
 - 22) 信州男性保育者ネットワーク世話人（渡邊真也）
 - 23) 北御牧地区友遊クラブ実行委員長（渡邊真也）、実行委員（谷貴人）
 - 24) 東信地区障害者スポーツ指導員協議会監事（岡田佳澄）

- 25) 東御市社会教育委員（岡田佳澄）
 - 26) 長野県障がい者スポーツ推進会議構成員（岡田佳澄）
 - 27) 北御牧中学校学校評議員（岡田佳澄）
-

2. 書籍・新聞・雑誌等への掲載

- 1) 「ちょっと耳よりな話」20年の歩みとこれから（市報とうみ、2019.4月号）
- 2) 金藤さん東御のPR大使に就任（信濃毎日新聞、2019.4.2）
- 3) 高地トレ用プール設備で説明会 市長に批判相次ぐ（信濃毎日新聞、2019.4.14）
- 4) 高地トレ用プール 市が指定管理者候補決定（信濃毎日新聞、2019.5.28）
- 5) チャレンジデー 弘道お兄さんと体操教室で楽しく汗（信濃毎日新聞、2019.5.30）
- 6) ボッチャのルール知って楽しもう 研究所がリーフレット作成（信濃毎日新聞、2018.6.4）
- 7) パラスポーツ挑戦しよう 東御で2種目の体験会（信濃毎日新聞、2019.6.12）
- 8) 座るバレーに挑戦 面白くて難しい 東御で体験会（信濃毎日新聞、2019.6.16）
- 9) 高地トレ用プール 東京五輪前代表が合宿（信濃毎日新聞、2019.6.19）
- 10) 「ユニバーサルスポーツ」体現 東御で体験会（信濃毎日新聞、2019.6.19）
- 11) 建設中の高地トレ用プール 市や日本水連が視察（東信ジャーナル、2019.6.20）
- 12) 高地トレーニング施設 米関係者が湯の丸を視察（信濃毎日新聞、2019.6.21）
- 13) 浅間山麓高地エリアにおける高地トレーニングの展開（月刊スポーツメディスン通信、7月号）
- 14) 湯の丸高原トレーニング中の大迫選手掲載（市報とうみ、2019.07.01）
- 15) 金藤さんの泳ぎ「かっこいい」東御で児童に指導（信濃毎日新聞、2019.7.24）
- 16) 海を満喫 絆深める 北御牧小から来訪 盛夏の交流（新潟日報、2019.7.28）
- 17) 北御牧・名立フレンドシップ 海遊びにキャンプ（上越タイムズ、2019.7.29）
- 18) 水泳ニッポン 12月国内発高地プール合宿（日刊スポーツ、2019.8.1）
- 19) 四季の森 親子満喫「ウォータースライダー楽しい！」（信濃毎日新聞、2019.8.22）
- 20) 北御牧と上越市名立の小学生 池の平湿原で交流（東信ジャーナル、2019.8.23）
- 21) ケアポートみまき「地域ぐるみのケアと予防の歩み」発刊の紹介（信濃毎日新聞、2019.8.25）
- 22) 湯の丸 高地トレーニング特集（とわいえ、2019.7.26）
- 23) 湯の丸高原施設整備事業の進捗状況 特集（市報、2019.9.1）
- 24) 開所20周年 健康づくりへの取り組みを発信（信州民放、2019.9.4）
- 25) 「設立20周年」と合わせた「記念式典」を開く（東信ジャーナルWEB版、2019.9.10）
- 26) 開所20周年で研究発表や記念誌（東信ジャーナル、2019.9.11）
- 27) ボルダリングで心身成長を いわい屋こども館に設置（信濃毎日新聞、2019.9.14）
- 28) 湯の丸高原に競泳高地トレーニングの拠点 客員研究員 金藤さんがPR（スポーツ報知、2019.9.18）
- 29) 県民パラスポーツ大会 パラリンピアン上原さんが主催 ボッチャ・車いすバスケットを体験（信濃毎日新聞、2019.9.30）
- 30) 「ちょっと耳よりな話」子どもの元気は地域の元気 里山探検の取組（市報とうみ、2019.10月号）
- 31) 湯の丸高原スポーツ交流施設「GMOアスリーツパーク湯の丸」特集（信濃毎日新聞、2019.10.20）
- 32) 湯の丸高原 高地トレーニング用プール完成（東信ジャーナル、2019.10.22）
- 33) 競泳日本代表の“虎の穴”完成！国内発50メートル高地トレプール（スポーツニッポン、2019.10.31）
- 34) “GMOアスリーツパーク湯の丸屋内プール”オープン（市報とうみ、2019.11月号）
- 35) 元気で長生きの秘訣は“フレイル(虚弱)予防”特集（市報とうみ、2019.11月号）
- 36) 高所トレーニング研究の成果と討論 第22回国際シンポジウム（信濃毎日新聞、2019.11.13）
- 37) 国内発！高地トレーニング用プールがオープン（月刊水泳、2019.11月号）
- 38) こども新聞 ボッチャ楽しいよ（信濃毎日新聞、2019.11.23）
- 39) ウルトラスリッ！走って 信州「GMOアスリーツ湯の丸」を紹介（信濃毎日新聞、2019.11.24）
- 40) 高地トレーニング用プール 一般向け体験セミナー（信濃毎日新聞、2019.11.24）
- 41) 高地トレ用プール寄附不足で7億円 市債発行へ（信濃毎日新聞、2019.11.26）
- 42) 高地トレ用プールオープン1ヶ月1200人利用（東信ジャーナル、2019.11.28）
- 43) 国内発！高地トレ用プールが湯の丸にオープン（県スポだより、2019.11.30）
- 44) 高地トレ用プール「市債7億円」批判相次ぐ市民向け説明会（信濃毎日新聞、2019.12.1）
- 45) 伝統のたすき 地域がつなぐ 北御牧地区55回駅伝大会（信濃毎日新聞、2019.12.1）
- 46) 東御 高地トレ聖地 「地域・五輪のため」市が整備（毎日新聞、2019.12.2）
- 47) 高地トレ用プール整備の市民説明会 180人参加（信州民報、2019.12.03）

- 48) 市長「責任は私に」 プール財源問題陳謝（信濃毎日新聞、2019.12.4）
 - 49) 高地トレ用プール整備の市民説明会 市が資金計画を説明（東信ジャーナル、2019.12.4）
 - 50) 科学にフォーカス 酸素量で体の働き調節 高地トレーニング関連記事（信濃毎日新聞、2019.12.6）
 - 51) 五輪へ 競泳代表東御で合宿 瀬戸・大橋選手ら（信濃毎日新聞、2019.12.6）
 - 52) 競泳代表選手の泳ぎ間近で 練習を一般公開（信濃毎日新聞、2019.12.6）
 - 53) 競泳日本代表チーム公開練習 一流選手の泳ぎ 250 人見学（東信ジャーナル、2019.12.11）
 - 54) 競泳 ナショナルチーム練習公開 コーチ陣・選手からも高い評価（月刊水泳、2019.12.20）
 - 55) 高地トレ用プールで競泳ナショナルチームが初の合宿（東信ジャーナル、2019.12.21）
 - 56) 高地トレ用プール建設費として市債 7 億円発行を可決（信濃毎日新聞、2019.12.21）
 - 57) 東御での合宿後 瀬戸大也選手 短水路世界新記録樹立！（スポーツ報知、2019.12.21）
 - 58) 東御市会 湯の丸高地トレ整備市債 7 億円の議案可決（信州民報、2019.12.24）
 - 59) 高地トレ用プール 競泳の強化拠点 瀬戸選手「追い込める場所」（日本経済新聞、2019.12.27）
 - 60) 東信地区市町村の 2019 年 3 大ニュース 高地トレ用プール完成（信濃毎日新聞、2019.12.29）
 - 61) 東信は高地トレーニングの適地 住民の健康増進や経済効果期待（東信ジャーナル、2020.1.1）
 - 62) パラ正式種目の「ボッチャ」を知ろう 「東御市の取り組み」を追って（信州民報、2020.1.1）
 - 63) GMO アスリート湯の丸 瀬戸選手ら競泳日本代表が練習（信州民報、2020.1.1）
 - 64) 型破り高地プール（讀賣新聞、2020.1.25）
 - 65) 高地トレーニング より身近に 「GMO アスリートパーク湯の丸」 トップ選手が活用（讀賣新聞、2020.1.26）
 - 66) 湯の丸特別会計（東御市市議会だより、2020.2.1）
 - 67) 東御市で「ボッチャ交流大会 2020」開催（信州民報、2020.2.13）
 - 68) 瀬戸 専門外の 100 平 V コナミオープン（東京新聞、2020.2.17）
 - 69) 香川栄養学園女子栄養大 連携協の包括協定締結（信州民報、2020.2.21）
 - 70) 高地トレ選手栄養面で支援 東御市と女子栄養大協定締結（信濃毎日新聞、2020.2.22）
-

3. 外部関係機関との連携業務

- 1) 早稲田大学川上泰雄教授・菊池萌水選手の 20 周年記念事業講師受入（2019.4.20）
- 2) 東邦大学今村晴彦助教、長野市保健所小林良清所長、佐久大学朴相俊准教授との研究打合せ（2019.5.8）
- 3) 日本体育大学杉田正明教授来訪、国際シンポジウム打合せ（2019.5.27）
- 4) 大韓民国龍仁大学校 呉泰雄教授関係者 3 名視察研修受け入れ（2019.6.12）
- 5) 日本体育大学保健医療学部現場実習 100 名受け入れ（2018.7.6-9）
- 6) 信州大学医学部仙丈ヶ岳登山研究参加（2019.7.17-19）
- 7) 東京家政学院大学江川ゼミ合宿受け入れ（2019.8.5-6）
- 8) 長野県立大学稲山ゼミ研究会参加（2019.8.8-9）
- 9) 東京大学野崎ゼミ、中澤ゼミ、東京工科大学小松ゼミ合宿 50 名受け入れ（2019.8.19-20）
- 10) 日本体育大学横田ゼミ合宿受け入れ（2019.8.26-27）
- 11) 日本体育大学体操部合宿・小学校指導・体操発表会 90 名受け入れ（2019.8.26-30）
- 12) 拓殖大学松橋ゼミ合宿受け入れ（2019.9.9-10）
- 13) 日本障がい者スポーツ協会関口部長来訪、障害者スポーツ学会打合せ（2019.9.27）
- 14) 湯の丸高原スポーツ交流施設屋内プール竣工式・関係者受け入れ（2019.10.19-20）
- 15) 日本体育大学体操部・台風被災地支援受け入れ（2019.10.22）
- 16) 早稲田大学柴田重信教授の東御市健康づくり講演会講師受け入れ（2019.10.28）
- 17) ケアポートよしだ開所 25 周年記念事業参加（2019.11.2）
- 18) 高所トレーニング環境システム研究会役員会等受け入れ（2019.11.8）
- 19) 東京都健康長寿医療センター清野諭研究員の東御市介護予防講演会講師受け入れ（2019.11.22）
- 20) 東京大学鎌田真光助教、研究所うんなん北湯口純主任研究員との研究打合せ（2019.12.2）
- 21) 社会的健康戦略研究所浅野健一郎所長と ISO 関係打合せ（2019.12.3）
- 22) 経済産業省西川和見ヘルスケア産業課長と健康経営関連打合せ（2019.12.3）
- 23) 公益財団法人日本水泳連盟・競泳日本代表公開練習・関係者受け入れ（2019.12.5-7）
- 24) 身体教育医学研究所うんなん子ども関係プロジェクト関係者受け入れ（2019.12.6-7）
- 25) 日本体育大学杉田正明教授来訪、JOC 競技別強化センター認定関係打合せ（2019.12.26-27）
- 26) 上田女子短期大学堤裕美専任講師・研究打合せ（2019.12.27）
- 27) 東京健康リハビリテーション総合研究所・研究所うんなんとの合同打合せ（2020.1.16-17）

- 28) 全日本大学バレーボール連盟市川伊三夫会長会合での高地トレーニング事業説明（2020.1.18）
- 29) 日本体育大学三宅良輔教授、次年度事業打合せ（2020.1.23）
- 30) 日本水産株式会社、湯の丸高原スポーツ交流施設エリアとの連携打合せ（2020.1.23）
- 31) 東京健康リハビリテーション総合研究所武藤芳照所長との研究打合せ（2020.1.24）
- 32) 公益財団法人日本水泳連盟坂元副会長他幹部と東御市との打合せ（2020.1.27）
- 33) 運動神経科学研究会中澤公孝教授、野崎大地教授、小松泰喜教授との打合せ（2020.1.29）
- 34) 広島県三次市長、岡崎クリニック院長への武藤名誉所長・北湯口理事表敬訪問同行（2020.2.1）
- 35) 日本ヘルスサイエンスセンター石川雄一代表地域包括ケア研修会講師受け入れ（2020.2.6）
- 36) 日本体育大学三宅良輔教授来訪、次年度事業打合せ（2020.2.10）
- 37) 東邦大学今村晴彦助教、次年度健康保健事業打合せ（2020.2.19）
- 38) 公益財団法人日本水泳連盟とのJOC 競技別強化センター認定関係打合せ（2020.2.21）
- 39) 日本水産株式会社、湯の丸高原スポーツ交流施設エリアとの連携打合せ（2020.2.21）
- 40) テレビ朝日宮嶋泰子アナウンサー感謝の集い参加（2020.2.21）
- 41) 日本体育大学横田ゼミ活動成果報告会受け入れ（2020.2.27）
- 42) 上田女子短期大学堤講師・信州スポーツ医療福祉専門学校小林講師との研究打合せ（2020.3.11）

【別表】

（３）講演会、健康づくり教室等への講師派遣

２．講演会、健康づくり教室講師の詳細

日付	場 所	依頼元・依頼事業	内 容	担当
2019/4/23	市内 北御牧公民館	北御牧名立友好協会	総会	渡邊
2019/5/18	市内 総合福祉センター3階	社会福祉協議会	簡単に身体も心もほぐれるストレッチ体操	横井
2019/5/23	市内 総合福祉センター3階	保健補導員研修会	オラホの地域の健康状況について	岡田
2019/5/24	市内 四季の森	みまき健康大学	里山探検紹介	谷
2019/6/3	市内 中央公園第二体育館	社会福祉協議会	ポッチャ交流会	半田・上園
2019/6/6	市内 総合福祉センター3階	地域包括支援係・多職種連携会議	多職種連携について	岡田
2019/6/12	市内 湯ノ丸高原	滋野地区保健補導員会	湯ノ丸ウォーキング	谷
2019/7/6	市内 湯の丸高原	和地区保健補導員会	湯の丸ウォーキング	横井
2019/7/13	市内 湯の丸高原	田中地区保健補導員会	湯の丸ウォーキング	横井
2019/8/22	市内 和コミュニティセンター	和地域づくりの会	ストレッチング	横井
2019/8/22	市内 総合福祉センター3階	地域包括支援係・多職種連携会議	市民病院との連携について	岡田
2019/9/28	市内 総合福祉センター3階	社会福祉協議会・上小ボランテアフォーラム	ポッチャ体験	岡田・上園
2019/10/17	市内 総合福祉センター3階	地域包括支援係・地域介護予防活動支援事業	ちょこっとずく出し、しあわせ探し	岡田
2019/10/17	市内 総合福祉センター3階	地域包括支援係・多職種連携会議	薬剤師会との連携について	岡田
2019/11/2	市内 サンテラスホール	長野県将来世代応援県民会議事務局 長野県青少年健全育成県民大会	東御の子どもの元気な育ちを支える取り組み	渡邊
2019/11/23	市内 東御市中央公民館	社会福祉協議会・障がい者福祉のつどい	ユニバーサルスポーツの普及	岡田
2019/11/16	市内 滋野小学校	滋野小学校人権教育	バラスポーツの魅力	半田
2020/1/11	市内 総合福祉センター3階	社会福祉協議会	ポッチャサポータ講習会	半田
2020/1/15	市内 総合福祉センター2階	社会福祉協議会	あった介護教室・ストレッチング	横井
2020/2/7	市内 ケアポートみまき	みまき健康大学	みまきっ子紹介	谷
2019/4/3	県内 信州医療福祉専門学校	株イミフ	信州医療福祉専門学校採寸補助	渡邊・横井・堀口
2019/4/18	県内 佐久市市民創縁センター	佐久保健福祉事務所管内保健関係者研修会	効果的な身体活動促進のアプローチを考える	岡田
2019/4/25	県内 東信教育事務所	東信教育事務所・東信地区市町村生涯スポーツ事務担当者会議	誰もが身近でスポーツに親しみやすい環境整備をめざして	岡田
2019/5/19	県内 長野市柳原体育館	北信教育事務所・第1回わくわくスポーツセミナー	遊びの本質から考えよう！心が動いて体が動く運動遊びの提案	渡邊
2019/5/31	県内 立科町老人保健センター	立科町町民課環境保健係	健康づくり教室 事前学習会	渡邊
2019/7/9	県内 佐久市創造館	長野県工業技術総合センター	ボールを使ったウォーキング検証	岡田・半田
2019/7/25	県内 ホテル信濃路	JAながの助け合いネットワーク全体会議	健康でいきいきと安心して暮らせる環境づくり	岡田
2019/8/22	県内 蓼科ふれあいセンター・女神湖	立科町町民課環境保健係	楽しく体を動かそうin女神湖	渡邊
2019/9/14	県内 森のようちえんびび	森のようちえんびび	ぼろびび活動支援	渡邊
2019/9/15	県内 上田女子短期大学	上田女子短期大学・信州上田やまほいくの里山プロジェクト	散歩の魅力を再考しよう	渡邊
2019/9/28	県内 佐久大学	佐久大学	運動不足による肩こり（頭痛）や膝腰痛をやわらげる健康体操	半田
2019/10/8	県内 湯の丸高原ホテル	上田税務署管内青色申告連合会・第43回女性部秋季合同研修会	健康長寿・3つの秘訣	岡田
2019/11/17	県内 佐久平交流センター	マイクストーン(株)・ジャンプラント「健康長寿」推進事業	フレイル予防	岡田
2019/11/27	県内 広丘西保育園	塩尻市広丘西保育園	遊びの本質から考える！心が動いて体が動く運動遊びとは	渡邊
2019/12/3	県内 上田ミックススポーツクラブ	NPO法人上田ミックススポーツクラブ	理事会	渡邊・上園
2019/12/11	県内 東御市中央公民館	東信教育事務所合同課会議研修会兼働き盛りの運動セミナー	高地トレーニングの方法と効果	岡田
2019/12/28	県内 松本市ビレネビル	日本体育大学長野県同窓会・就職対策研修会	民間・企業での日休生の活躍	渡邊
2020/2/4	県内 ケアポートみまき	佐久大学	地域包括ケアサービス開発プロジェクト研修(S-TOP)	岡田
2020/2/7	県内 JA虹のホールきそ	JA木曽女性部	目指そう！健康華齡	岡田
2020/2/20	県内 西部公民館	上田市社会福祉協議会	ポッチャ体験	上園
2019/5/17	県外 日本障がい者スポーツ協会	公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会	障がい者スポーツ指導者協議会 第1回トレーナー部会	半田
2020/2/7～2/9	県外 横浜ラポール	公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会	障がい者スポーツトレーナー養成講習会	半田
2020/2/13	県外 ナショナルトレーニングセンター	公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会	障がい者スポーツ指導者協議会 第2回トレーナー部会	半田
2020/3/6	県外 WEB参加（経済産業省）	一般財団法人日本規格協会	高齢化社会-ウェルビーイングマネジメントシステム国際標準化委員会 準備委員会	岡田
2020/3/26	県外 日本規格協会会議室	一般財団法人日本規格協会	高齢化社会-ウェルビーイングマネジメントシステム国際標準化委員会 準備委員会	岡田

【別記】

開所 20 周年記念事業

<趣旨>

今まで地域と共に歩んできたしんたいの取り組みを振り返りつつ、関係の皆様へ 20 周年の感謝を伝えるとともに、これからの 20 年に向けた更なる発展を目指すために引き続きご支援をお願いする機会とする。

<実施内容>

(1) しんたい 20 周年記念イベント「しんたいの日」

	日程	内 容	講師 ナビゲーター (敬称略)	参加数
①	4/20	みんなのための「筋肉」の話	菊池萌水・川上泰雄・田中史子	98
②	5/23	オラホの地域の健康状況について	岡田真平	192
③	6/15	「みんなのスポーツ」体験会	加藤正・ルートインホテルズ 女子バレーボール部	96
④	7/20	湯の丸健康ウォーキング	別府英宣・渡邊真也	35
⑤	8/20	みんなあつまれ！里山探検	谷貴人	58
⑥	8/29	日本体育大学体操部発表交流会	三宅良輔・小柳将吾・今井菜津美	970
⑦	9/20	ポールウォーキング - 中止 -	谷貴人	—
⑧	10/20	湯の丸高原スポーツ交流施設見学ツアー	半田秀一・岡田真平	25
⑨	11/20	ケアポートみまきでポール体験「自分らしく老いる」	中村崇・小林大起・笹本和宏	30
⑩	12/20	はじめてのジャイロキネシス	山中朗子・横井佳代	36

(2) 開所 20 周年記念式典・祝賀会

日程：令和元年 8 月 31 日（土）

場所：ラ・ヴェリテ 長野県東御市田中 63 番地 4

『記念式典』午後 2 時～午後 3 時 30 分 レインボー(2 階)

式 辞	(公財)身体教育医学研究所代表理事 田丸基廣
市長挨拶	長野県東御市長 花岡利夫様
来賓祝辞	(公財)日本財団理事長 尾形武寿様 島根県雲南市長 速水雄一様
しんたいのあゆみとこれから	(公財)身体教育医学研究所 岡田真平、半田秀一、渡邊真也、横井佳代
太極拳風リズム体操	指導員：谷貴人、指導サポート：高橋美絵様、北湯口純様、西川喜久子様
名誉所長挨拶	東京健康リハビリテーション総合研究所 東京大学名誉教授 武藤芳照様

『記念祝賀会』午後 4 時～午後 6 時 オーロラ(3 階)

挨 拶	(公財)身体教育医学研究所代表理事 田丸基廣
乾 杯	(一財)全日本大学バレーボール連盟会長 久光製薬株式会社社外取締役 市川伊三夫様
歓談・応援メッセージ	押本正美様、宮嶋泰子様、荒川玲子様、上岡洋晴様
万歳三唱	長野県議会議員 石和大様

出席者数：192 名

記念品：(公財)身体教育医学研究所 20 周年記念誌・しんたいロゴ入り手拭い・ロゴ入り紅白菓子
書籍「地域ぐるみのケアと予防のあゆみー信州東御・ケアポートみまきー」

記念撮影：



<実行委員会（2018 年 4 月～2019 年 8 月）>

代表理事・業務執行理事・全所員・前研究部長・市健康保健課長・福社会健康増進課長 計 14 名

組織体制

委員長

(代表理事)

副委員長 2 名

(業務執行理事)

作業部会長

(所長)

統括兼行事部長

(指導部長)

事業部長

(研究部長)

総務部長

(総務主任)



実行委員及び当日スタッフの集合写真



2. 役員会等に関する事項

【理事会、評議員会等】

令和元年 6月2日(日)	第1回理事会(ケアポートみまき:理事8名、監事2名、名誉所長1名、事務局3名、他2名出席) 決議事項 第1号議案:平成30年度事業報告及び決算について 第2号議案:令和元年度定時評議員会の招集について 第3号議案:理事の推薦について 報告事項 令和元年度研究所体制について 前回議事報告 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告 研究所20周年記念事業に向けた進捗状況 御寄附報告
6月20日(木)	定時評議員会(ケアポートみまき:評議員10名、理事10名、監事2名、名誉所長1名、事務局2名、他3名出席) 決議事項 第1号議案:平成30年度事業報告及び決算の承認 第2号議案:理事の選任 報告事項 令和元年度研究所体制について 令和元年度事業計画・予算について 研究所20周年記念事業の概要について
10月19日(土)	第2回理事会:(ケアポートみまき:理事9名、監事2名、名誉所長1名、事務局3名、他3名) 決議事項 第1号議案:しんたい中期計画2020-2023(第3期)骨子について 報告事項 前回議事報告 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告 令和元年度事業中間報告及び上半期決算報告 御寄附の報告 東京健康リハビリテーション総合研究所委託事業の進捗状況 法人設立20周年記念事業について ホームページの運営状況
令和2年 3月23日(月)	第3回理事会:(書面決議:理事9名、監事2名、名誉所長1名) 決議事項 第1号議案:令和元年度補正予算(第1次)について 第2号議案:規程第16~20号の新設について 第3号議案:令和2年度事業計画・予算について 報告事項 前回議事報告 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告 令和元年度中間の財産状況 休眠預金を活用した体験格差解消事業の実行団体への内定

【代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告】

No.	日程	職務内容	担当理事
1	4月01日(月)	辞令交付、年度始め式、業務執行理事会	田丸・吉澤・翠川
2	4月11日(木)	高地トレーニング事業関連打ち合わせ	田丸・岡田
3	4月20日(土)	しんたいの日「筋肉の話」講習会	田丸・吉澤・翠川・岡田
4	4月24日(水)	所内業務ミーティング	田丸・吉澤・翠川・岡田
5	5月10日(金)	桂川保彦顧問来訪・打ち合わせ	田丸・岡田
6	5月15日(水)	所内業務ミーティング、開所20年の日のお祝い	田丸・吉澤・翠川・岡田
7	5月17日(金)	東方久男顧問公認会計士会計指導	翠川・岡田
8	5月21日(火)	法人決算監査	翠川・岡田
9	5月27日(月)	杉田正明日本体育大学教授来訪・打ち合わせ	田丸・岡田
10	5月29日(水)	チャレンジデー：佐藤弘道さん受け入れ他	田丸・岡田
11	5月31日(金)	業務執行理事会	田丸・吉澤・翠川・岡田
12		湯の丸高原高地トレーニング庁内プロジェクト会議	田丸・岡田
13	6月02日(日)	令和元年度第1回理事会	田丸・吉澤・翠川・岡田
14	6月10日(月)	東御市議会全員協議会決算説明	田丸・吉澤・翠川・岡田
15	6月11日(火)	社会福祉法人みまき福祉会理事会	翠川・岡田
16	6月15日(土)	しんたいの日「ユニバーサルスポーツ体験会」	吉澤・岡田
17	6月18日(火)	高地トレーニング拠点・プール施設整備推進委員会	田丸・岡田
18	6月20日(木)	令和元年度定時評議員会	田丸・吉澤・翠川・岡田
19	6月27日(木)	業務執行理事会	田丸・吉澤・翠川・岡田
20	7月01日(月)	所内業務ミーティング	田丸・吉澤・翠川・岡田
21	7月12日(金)	身体教育医学研究所うんなん運営委員会	岡田
22	7月31日(水)	東京健康リハビリテーション総合研究所打合せ	田丸・岡田
23	8月07日(水)	所内業務ミーティング	田丸・吉澤・翠川・岡田
24	8月31日(土)	研究所開所20周年記念式典・祝賀会	田丸・吉澤・翠川・岡田
25	9月13日(金)	所内業務ミーティング	田丸・吉澤・翠川・岡田
26	10月11日(金)	所内業務ミーティング	田丸・吉澤・翠川・岡田
27	10月18日(金)	業務執行理事会	田丸・吉澤・翠川・岡田
28	10月19日(土)	令和元年度第2回理事会	田丸・吉澤・翠川・岡田
29		高地トレーニング拠点・プール施設整備推進委員会	田丸・岡田
30	10月20日(日)	高地プール竣工式、研究所うんなん打合せ	田丸・吉澤・翠川・岡田
31	11月02日(土)	ケアポートよしだ開所25周年記念事業	岡田
32	11月05日(火)	所内業務ミーティング	田丸・吉澤・翠川・岡田
33	11月9-10日(土日)	第22回高所トレーニング国際シンポジウム	田丸・吉澤・翠川・岡田
34	12月05日(木)	日本水泳連盟競泳日本代表チーム・マスコミ公開練習	田丸・岡田
35	12月19日(木)	所内業務ミーティング	田丸・吉澤・翠川
36	12月27日(金)	杉田正明日本体育大学教授来訪・打ち合わせ	田丸・岡田
37	R2年1月6日(月)	仕事始め式	田丸・吉澤・翠川・岡田
38	1月16日(木)	東京健康リハ総研・研究所うんなん新年打合せ	翠川・岡田
39	1月24日(金)	研究所開所20周年記念式典・祝賀会を総括する会	田丸・吉澤・翠川・岡田
40	1月27日(月)	日本水泳連盟役員との打合せ	田丸・岡田
41	1月31日(金)	身体教育医学研究所うんなん運営委員会	吉澤・岡田
42	2月10日(月)	三宅良輔日本体育大学教授来訪・打ち合わせ	田丸・岡田
43	2月18日(火)	所内業務ミーティング	田丸・吉澤・翠川・岡田
44	3月9日(月)	所内業務ミーティング	翠川・岡田
45	3月11日(水)	業務執行理事会	田丸・吉澤・翠川・岡田
46	3月23日(月)	令和元年度第3回理事会（感染防止のため書面決議）	田丸・吉澤・翠川・岡田

3. 各年度末の正味財産増減の状況並びに財産の状態の推移

【単位：円】

事業年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	元年度
経常収益計	39,340,466	35,933,693	42,074,261	49,374,192	50,564,138	45,913,010
うち事業収益	32,062,041	23,426,952	30,069,485	28,811,529	29,889,949	20,904,582
（調査研究）	(1,249,530)	(2,395,680)	(6,702,736)	(9,934,978)	(308,000)	(0)
（受託協力）	(24,469,380)	(14,620,276)	(17,620,166)	(11,553,113)	(25,438,165)	(17,107,022)
（講師派遣）	(5,984,865)	(5,655,380)	(5,441,215)	(4,691,621)	(3,679,092)	(2,719,297)
（その他）	(358,266)	(755,616)	(305,368)	(448,620)	(464,692)	(1,078,263)
うち受取補助金等	7,205,778	8,529,222	11,752,000	12,796,000	6,525,000	8,481,000
（地方公共団体）	(6,500,000)	(7,935,000)	(7,935,000)	(8,900,000)	(6,225,000)	(8,331,000)
（国庫・民間等）	(705,778)	(594,222)	(3,817,000)	(3,896,000)	(300,000)	(150,000)
うち受取寄附金	71,000	3,976,216	252,712	7,766,488	14,148,896	16,527,216
うちその他	1,647	1,303	64	175	293	212
経常費用計	42,798,576	36,549,039	33,853,814	36,845,398	51,373,808	53,193,924
うち事業費	40,848,576	34,299,039	31,603,750	34,595,223	49,723,730	51,409,336
（人件費）	(22,921,699)	(23,355,232)	(16,175,029)	(13,595,727)	(21,473,185)	(20,004,452)
（旅費交通費）	(2,777,002)	(1,693,359)	(2,141,019)	(2,461,473)	(2,559,836)	(2,342,446)
（委託費）	(6,913,676)	(762,268)	(1,612,197)	(2,697,573)	(12,424,309)	(11,771,442)
（その他）	(8,236,199)	(8,488,180)	(11,675,505)	(15,840,450)	(13,266,400)	(17,290,996)
うち管理費	1,950,000	2,250,000	2,250,064	2,250,175	1,650,078	1,784,588
経常増減額	△3,458,110	△615,346	8,220,447	12,528,794	△809,670	△7,280,914
一般正味財産 期末残高	3,542,401	2,927,055	11,147,502	23,676,296	22,866,623	14,996,464
資産合計	9,997,932	6,534,868	13,602,758	42,973,668	39,733,104	25,106,766
負債合計	3,011,309	3,607,813	2,455,256	4,297,372	5,866,481	41,100,302
正味財産	6,986,623	2,927,055	11,147,502	38,676,296	33,866,623	20,996,464
【備 考】			厚生労働省 支援事業	長野県地域発 元気づくり 支援金		長野県地域発 元気づくり 支援金
			日本財団 助成事業	健康体力 づくり財団		
	市の健康課題と その解決方策 に関する調査 研究事業		東御の子ども 研究実践事業	高トレ国際 シンポ開催 事業補助金		
	H25 年度～ 東御市湯の丸高原高地トレーニング施設 誘致関連業務委託			「湯の丸ツーリズムプロジェクト」プロモーション事業		
				「湯の丸高原 屋内運動施設 （特設プール） プロモーション事業」		
			公益財団法人日本水泳連盟 「高地トレーニング拠点・プール施設整備推進関連業務」			

Ⅲ. 法人の課題

Ⅱの中で触れた事業の概況において課題も併せて記載しており、省略する。

決 算 報 告 書

第 13 期

自 平成31年 4月 1日
至 令和 2年 3月31日

公益財団法人 身体教育医学研究所

貸借対照表

公益財団法人身体教育医学研究所

令和2年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
〔資産の部〕			
【流動資産】			
現金預金	839,428	92,481	746,947
未収金	4,643,319	8,908,065	△ 4,264,746
流動資産合計	5,482,747	9,000,546	△ 3,517,799
【固定資産】			
(特定資産)			
パラリンピック支援事業積立資産	6,000,000	11,000,000	△ 5,000,000
公益目的事業積立資産	5,000,000	5,000,000	0
事業拡充積立資産	2,600,000	4,100,000	△ 1,500,000
二十周年記念事業積立資産	0	2,744,200	△ 2,744,200
退職給付引当資産	1,332,444	1,129,020	203,424
特定資産合計	14,932,444	23,973,220	△ 9,040,776
(その他固定資産)			
車両運搬具	2,369,750	3,259,245	△ 889,495
什器備品	2,171,858	3,206,810	△ 1,034,952
ソフトウェア	149,967	293,283	△ 143,316
その他固定資産合計	4,691,575	6,759,338	△ 2,067,763
固定資産合計	19,624,019	30,732,558	△ 11,108,539
資産合計	25,106,766	39,733,104	△ 14,626,338
〔負債の部〕			
【流動負債】			
未払金	2,569,575	3,998,100	△ 1,428,525
預り金	208,283	739,361	△ 531,078
流動負債合計	2,777,858	4,737,461	△ 1,959,603
【固定負債】			
退職給付引当金	1,332,444	1,129,020	203,424
固定負債合計	1,332,444	1,129,020	203,424
負債合計	4,110,302	5,866,481	△ 1,756,179
〔正味財産の部〕			
【指定正味財産】			
寄付金	6,000,000	11,000,000	△ 5,000,000
指定正味財産合計	6,000,000	11,000,000	△ 5,000,000
(うち特定資産への充当額)	(6,000,000)	(11,000,000)	5,000,000
【一般正味財産】	14,996,464	22,866,623	△ 7,870,159
(うち特定資産への充当額)	(8,932,444)	(12,973,220)	4,040,776
正味財産合計	20,996,464	33,866,623	△ 12,870,159
負債及び正味財産合計	25,106,766	39,733,104	△ 14,626,338

令和元年度正味財産増減計算書

公益財団法人身体教育医学研究所

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	151	215	△ 64
特定資産受取利息	151	215	△ 64
事業収益	20,904,582	29,889,949	△ 8,985,367
調査研究事業収益	0	308,000	△ 308,000
受託協力事業収益	17,107,022	25,438,165	△ 8,331,143
講師派遣事業収益	2,719,297	3,679,092	△ 959,795
研究会等開催事業収益	70,200	250,142	△ 179,942
出版物用発刊事業収益	190,448	138,442	52,006
その他事業収益	817,615	76,108	741,507
受取補助金等	8,481,000	6,525,000	1,956,000
受取地方公共団体補助金	8,331,000	6,185,000	2,146,000
受取民間補助金	150,000	300,000	△ 150,000
受取地方公共団体助成金	0	40,000	△ 40,000
受取寄附金	16,527,216	14,148,896	2,378,320
受取寄附金	11,527,216	10,148,896	1,378,320
受取寄附金振替額	5,000,000	4,000,000	1,000,000
雑収益	61	78	△ 17
受取利息	61	78	△ 17
経常収益計	45,913,010	50,564,138	△ 4,651,128
(2) 経常費用			
事業費	51,409,336	49,723,730	1,685,606
給料手当	12,815,420	14,456,403	△ 1,640,983
臨時雇賃金	4,127,821	2,224,198	1,903,623
退職給付費用	923,424	1,849,020	△ 925,596
法定福利費	2,044,744	2,668,737	△ 623,993
福利厚生費	93,043	274,827	△ 181,784
広告宣伝費	162,000	310,800	△ 148,800
旅費交通費	2,342,446	2,559,836	△ 217,390
通信運搬費	259,840	439,859	△ 180,019
減価償却費	1,805,768	1,289,406	516,362
消耗什器備品費	18,900	353,577	△ 334,677
消耗品費	735,641	1,174,526	△ 438,885
書籍費	92,164	103,357	△ 11,193
修繕費	363,197	955,357	△ 592,160
印刷製本費	1,545,201	1,872,314	△ 327,113
燃料費	401,732	434,572	△ 32,840
光熱水料費	1,002,000	517,000	485,000
賃借料	848,152	1,323,032	△ 474,880
保険料	437,770	766,022	△ 328,252
諸謝金	3,232,566	1,013,221	2,219,345
租税公課	946,600	1,194,800	△ 248,200
支払負担金	914,712	684,333	230,379
会議費	140,731	235,418	△ 94,687
委託費	11,771,442	12,424,309	△ 652,867
20周年記念事業費	3,358,983	0	3,358,983
雑費	1,025,039	598,806	426,233
管理費	1,784,588	1,650,078	134,510
役員報酬	98,700	122,700	△ 24,000
給料手当	480,000	1,358,825	△ 878,825
臨時雇賃金	1,060,170	0	1,060,170
会議費	0	7,128	△ 7,128
旅費交通費	63,240	106,922	△ 43,682
通信運搬費	2,220	0	2,220
消耗品費	898	0	898
租税公課	600	1,650	△ 1,050
雑費	78,760	52,853	25,907
経常費用計	53,193,924	51,373,808	1,820,116
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 7,280,914	△ 809,670	△ 6,471,244
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 7,280,914	△ 809,670	△ 6,471,244
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産処分損	0	3	△ 3
什器備品処分損	0	3	△ 3
固定資産売却損	589,245	0	589,245
什器備品売却損	589,245	0	589,245
経常外費用計	589,245	3	589,242
当期経常外増減額	△ 589,245	△ 3	△ 589,242
当期一般正味財産増減額	△ 7,870,159	△ 809,673	△ 7,060,486
一般正味財産期首残高	22,866,623	23,676,296	△ 809,673
一般正味財産期末残高	14,996,464	22,866,623	△ 7,870,159
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	△ 5,000,000	△ 4,000,000	△ 1,000,000
当期指定正味財産増減額	△ 5,000,000	△ 4,000,000	△ 1,000,000
指定正味財産期首残高	11,000,000	15,000,000	△ 4,000,000
指定正味財産期末残高	6,000,000	11,000,000	△ 5,000,000
III 正味財産期末残高	20,996,464	33,866,623	△ 12,870,159

令和元年度正味財産増減計算書内訳表

公益財団法人身体教育医学研究所

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで (単位:円)

	科 目	公益目的事業会計					法人会計	合計 (A)	前年度 決算(B)	差異 (A-B)	当年度 予算(C)	遂行率 (A/C)
		公1:調査研究	公2:教育啓発	公3:情報発信	共通	小計						
1	I 一般正味財産増減の部											
2	1. 経常増減の部											
3	(1)経常収益											
4	特定資産運用益	0	0	0	151	151	0	151	215	△ 64	0	*
5	特定資産運用益	0	0	0	151	151		151	215	△ 64	0	*
6	事業収益	8,266,173	12,406,577	206,952	24,880	20,904,582	0	20,904,582	29,889,949	△ 8,985,367	18,943,000	110%
7	調査研究事業収益	0	0	0	0	0	0	0	308,000	△ 308,000	225,000	*
8	受託協力事業収益	7,998,100	9,108,922	0	0	17,107,022	0	17,107,022	25,438,165	△ 8,331,143	15,678,000	109%
9	講師派遣事業収益	255,522	2,463,775	0	0	2,719,297	0	2,719,297	3,679,092	△ 959,795	2,737,000	17%
10	研究会等開催事業収益	0	70,200	0	0	70,200	0	70,200	250,142	△ 179,942	0	*
11	出版物用発刊事業収益	10,000	500	179,948	0	190,448	0	190,448	138,442	52,006	80,000	*
12	その他事業収益	2,551	763,180	27,004	24,880	817,615	0	817,615	76,108	741,507	223,000	367%
13	受取補助金等	2,981,000	500,000	3,500,000	0	6,981,000	1,500,000	8,481,000	6,525,000	1,956,000	8,581,000	99%
14	受取地方公共団体補助金	2,981,000	350,000	3,500,000	0	6,831,000	1,500,000	8,331,000	6,185,000	2,146,000	8,431,000	99%
15	受取民間補助金	0	150,000	0	0	150,000	0	150,000	300,000	△ 150,000	150,000	100%
16	受取地方公共団体助成金	0	0	0	0	0	0	0	40,000	△ 40,000	0	*
17	受取寄付金	300,000	6,227,216	0	10,000,000	16,527,216	0	16,527,216	14,148,896	2,378,320	16,527,000	100%
18	受取寄附金	300,000	1,227,216	0	10,000,000	11,527,216	0	11,527,216	10,148,896	1,378,320	11,527,000	100%
19	受取寄附金振替額	0	5,000,000	0	0	5,000,000	0	5,000,000	4,000,000	1,000,000	5,000,000	*
20	雑収益	0	0	0	0	0	61	61	78	△ 17	1,000	6%
21	利子収益	0	0	0	0	0	61	61	78	△ 17	1,000	6%
22	経常収益計	11,547,173	19,133,793	3,706,952	10,025,031	44,412,949	1,500,061	45,913,010	50,564,138	△ 4,651,128	44,052,000	104%
23	(2)経常費用											
24	事業費	12,848,123	28,661,209	3,925,121	5,974,883	51,409,336		51,409,336	49,723,730	1,685,606	49,831,000	103%
25	給料手当	3,296,959	6,432,285	3,086,176	0	12,815,420		12,815,420	14,456,403	△ 1,640,983	12,814,000	100%
26	臨時雇賃金	0	4,127,821	0	0	4,127,821		4,127,821	2,224,198	1,903,623	4,157,000	99%
27	退職給付費用	285,668	397,756	240,000	0	923,424		923,424	1,849,020	△ 925,596	720,000	128%
28	法定福利費	526,041	1,026,293	492,410	0	2,044,744		2,044,744	2,668,737	△ 623,993	2,200,000	93%
29	福利厚生費	0	0	0	93,043	93,043		93,043	274,827	△ 181,784	64,000	145%
30	広告宣伝費	162,000	0	0	0	162,000		162,000	310,800	△ 148,800	162,000	115%
31	旅費交通費	960,605	1,381,841	0	0	2,342,446		2,342,446	2,559,836	△ 217,390	2,223,000	105%
32	通信運搬費	179,738	0	0	80,102	259,840		259,840	439,859	△ 180,019	276,000	94%
33	減価償却費	340,997	33,000	0	1,431,771	1,805,768		1,805,768	1,289,406	516,362	872,000	207%
34	消耗什器備品費	18,900	0	0	0	18,900		18,900	353,577	△ 334,677	347,000	5%
35	消耗品費	87,227	437,934	0	210,480	735,641		735,641	1,174,526	△ 438,885	1,267,000	58%
36	書籍費	27,080	32,707	0	32,377	92,164		92,164	103,357	△ 11,193	85,000	108%
37	修繕費	0	0	0	363,197	363,197		363,197	955,357	△ 592,160	444,000	82%
38	印刷製本費	766,959	375,714	0	402,528	1,545,201		1,545,201	1,872,314	△ 327,113	2,691,000	57%
39	燃料費	90,263	12,550	0	298,919	401,732		401,732	434,572	△ 32,840	1,170,000	34%
40	光熱水料費	0	0	0	1,002,000	1,002,000		1,002,000	517,000	485,000	305,000	329%
41	賃借料	265,600	6,500	500	575,552	848,152		848,152	1,323,032	△ 474,880	821,000	103%
42	保険料	0	72,480	0	365,290	437,770		437,770	766,022	△ 328,252	415,000	105%
43	諸謝金	1,714,756	1,406,440	0	111,370	3,232,566		3,232,566	1,013,221	2,219,345	3,159,000	102%
44	租税公課	374,754	562,463	9,383	0	946,600		946,600	1,194,800	△ 248,200	641,000	148%
45	支払負担金	222,686	692,026	0	0	914,712		914,712	684,333	230,379	1,008,000	91%
46	会議費	124,720	1,331	14,680	0	140,731		140,731	235,418	△ 94,687	141,000	1%
47	委託費	2,720,448	8,238,949	32,400	779,645	11,771,442		11,771,442	12,424,309	△ 652,867	11,633,000	101%
48	20周年記念事業費	0	3,358,983	0	0	3,358,983		3,358,983	0	3,358,983	0	*
49	雑費	682,722	64,136	49,572	228,609	1,025,039		1,025,039	598,806	426,233	2,216,000	771%
50	管理費						1,784,588	1,784,588	1,650,078	134,510	1,896,000	372%
51	役員報酬						98,700	98,700	122,700	△ 24,000	133,000	10%
52	給料手当						480,000	480,000	1,358,825	△ 878,825	480,000	100%
53	臨時雇賃金						1,060,170	1,060,170	0	1,060,170	1,005,000	599%
54	会議費						0	0	7,128	△ 7,128	0	*
55	旅費交通費						63,240	63,240	106,922	△ 43,682	177,000	36%
56	通信運搬費						2,220	2,220	0	2,220	0	222%
57	消耗品費						898	898	0	898	0	1%
58	租税公課						600	600	1,650	△ 1,050	1,000	60%
59	雑費						78,760	78,760	52,853	25,907	100,000	79%
60	経常費用計	12,848,123	28,661,209	3,925,121	5,974,883	51,409,336	1,784,588	53,193,924	51,373,808	1,820,116	51,727,000	103%
61	評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,300,950	△ 9,527,416	△ 218,169	4,050,148	△ 6,996,387	△ 284,527	△ 7,280,914	△ 809,670	△ 6,471,244	△ 7,675,000	95%
62	評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	*
63	当期経常増減額	△ 1,300,950	△ 9,527,416	△ 218,169	4,050,148	△ 6,996,387	△ 284,527	△ 7,280,914	△ 809,670	△ 6,471,244	△ 7,675,000	95%
64	2. 経常外増減の部											
65	(1)経常外収益											
66	経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	*
67	(2)経常外費用											
68	固定資産処分損	0	0	0	0	0		0	3	△ 3	0	*
69	什器備品処分損	0	0	0	0	0		0	3	△ 3	0	*
70	固定資産売却損	589,245	0	0	0	589,245		589,245	0	589,245	0	*
71	什器備品売却損	589,245	0	0	0	589,245		589,245	0	589,245	0	*
72	経常外費用計	589,245	0	0	0	589,245	0	589,245	3	589,242	0	*
73	当期経常外増減額	△ 589,245	0	0	0	△ 589,245	0	△ 589,245	△ 3	△ 589,242	0	*
74	当期一般正味財産増減額	△ 1,890,195	△ 9,527,416	△ 218,169	4,050,148	△ 7,585,632	△ 284,527	△ 7,870,159	△ 809,673	△ 7,060,486	△ 7,675,000	103%
75	一般正味財産期首残高							22,866,623	23,676,296	△ 809,673	22,866,623	100%
76	一般正味財産期末残高							14,996,464	22,866,623	△ 7,870,159	15,191,623	99%
77	II 指定正味財産増減の部											
78	一般正味財産への振替額		△ 5,000,000			△ 5,000,000		△ 5,000,000	△ 4,000,000	△ 1,000,000	5,000,000	100%
79	当期指定正味財産増減額		△ 5,000,000			△ 5,000,000	0	△ 5,000,000	△ 4,000,000	△ 1,000,000	△ 5,000,000	100%
80	指定正味財産期首残高		5,000,000			5,000,000	0	11,000,000	15,000,000	△ 4,000,000	11,000,000	100%
81	指定正味財産期末残高					0	0	6,000,000	11,000,000	△ 5,000,000	6,000,000	100%
82	III 正味財産期末残高					0	0	20,996,464	33,866,623	△ 12,870,159	21,191,623	99%

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

定額法を採用している。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金…職員の退職給付に備えるため、退職金規程に基づき、期末自己都合要支給額から中小企業退職金共済制度支給額を控除した金額に相当する金額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

税込方式により行っている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
パラリンピック支援事業積立資産	11,000,000	0	5,000,000	6,000,000
公益目的事業積立資産	5,000,000	0	0	5,000,000
事業拡充積立資産	4,100,000	0	1,500,000	2,600,000
二十周年記念事業積立資産	2,744,200	0	2,744,200	0
退職給付引当資産	1,129,020	203,424	0	1,332,444
合 計	23,973,220	203,424	9,244,200	14,932,444

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち基金に 対応する額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産					
パラリンピック支援事業積立資産	6,000,000	(6,000,000)	(0)	(0)	(0)
公益目的事業積立資産	5,000,000	(0)	(5,000,000)	(0)	(0)
事業拡充積立資産	2,600,000	(0)	(2,600,000)	(0)	(0)
退職給付引当資産	1,332,444	(0)	(0)	(0)	(1,332,444)
小 計	14,932,444	(6,000,000)	(7,600,000)	(0)	(1,332,444)
合 計	14,932,444	(6,000,000)	(7,600,000)	(0)	(1,332,444)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	5,492,660	3,122,910	2,369,750
什器備品	4,313,469	2,141,611	2,171,858
ソフトウェア	797,580	647,613	149,967
合 計	10,603,709	5,912,134	4,691,575

5. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の 当期末残高	債権の 当期末残高
未収金	4,643,319		4,643,319
合 計	4,643,319	0	4,643,319

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

						(単位：円) 貸借対照表上の記載区分
補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	
補助金						
地域発元気づくり支援金	長野県	0	2,981,000	2,981,000	0	—
情報発信事業補助金	東御市	0	5,000,000	5,000,000	0	—
障がい児(者)健康づくり運動支援事業補助金	東御市	0	350,000	350,000	0	—
障がい児(者)健康づくり運動支援事業補助金	社会福祉法人 東御市社会福祉協議会	0	150,000	150,000	0	—
合 計		0	8,481,000	8,481,000	0	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)	
内 容	金 額
経常収益への振替額	
受取寄附金の振替額	5,000,000
合 計	5,000,000

8. その他

退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職金規程に基づく退職一時金制度を設けている。

(2) 退職給付債務及びその内訳

① 退職給付債務	△ 4,850,644
② 中小企業退職金共済制度支給額	3,518,200
③ 退職給付引当金(①+②)	△ 1,332,444

(3) 退職給付費用に関する事項

① 中小企業退職金共済制度掛金	720,000
② 退職給付引当金繰り入れ	203,424
③ 退職給付費用(①+②)	923,424

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職金規程に基づく退職一時金制度による期末自己都合要支給額から、中小企業退職金共済制度による支給額を控除した金額に相当する金額を基礎として計算している。

附属明細書

1. 特定資産の明細

特定資産については、財務諸表に対する注記2に記載しており、内容の記載を省略する。

2. 引当金の明細

退職給付引当金

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	1,129,020	203,424	0	0	1,332,444

財 産 目 録

令和2年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額		
【流動資産】						
預金		普通預金 八十二銀行田中支店	運転資金として	703, 044		
		普通預金 佐久浅間農業協同組合北御牧支所	運転資金として	67, 112		
		普通預金 佐久浅間農業協同組合北御牧支所	運転資金として	0		
		普通預金 信州うえだ農業協同組合東御支所	運転資金として	12, 272		
		当座預金 ゆうちょ銀行ゆうちょダイレクト	運転資金として	57, 000		
		< 預金計 >		839, 428		
		未収金	東御市他	事業収益等未収分	4, 643, 319	
< 未収金計 >				4, 643, 319		
流動資産合計				5, 482, 747		
【固定資産】						
特定資産	パラリンピック支援事業積立 資産 公益目的事業積立資産 事業拡充積立資産 退職給付引当資産	普通預金 八十二銀行田中支店	公益目的事業の積立資金である。	6, 000, 000		
		普通預金 八十二銀行田中支店	公益目的事業の積立資金である。	5, 000, 000		
		普通預金 佐久浅間農業協同組合北御牧支所	公益目的事業の積立資金である。	2, 600, 000		
		普通預金 佐久浅間農業協同組合北御牧支所	公益目的事業の積立資金である。	1, 332, 444		
		< 特定資産合計 >		14, 932, 444		
		その他 固定資産	車両運搬具	車両4台	公益目的保有財産である。	2, 369, 750
			什器備品	パソコン9台、サーバー	公益目的保有財産である。	2, 171, 858
ソフトウェア	SPSSソフト		公益目的保有財産である。	149, 967		
< その他固定資産合計 >			4, 691, 575			
固定資産合計				19, 624, 019		
資産合計				25, 106, 766		
【流動負債】						
未払金	(福)みまき福祉会他	事業費等未払分		2, 569, 575		
預り金	役職員他	源泉所得税等		208, 283		
流動負債合計				2, 777, 858		
【固定負債】						
退職給付引当金	職員	職員2名に対する退職金の支払いに 備えたもの		1, 332, 444		
固定負債合計				1, 332, 444		
負債合計				4, 110, 302		
正味財産				20, 996, 464		

監 査 報 告 書

公益財団法人身体教育医学研究所

代表理事 田丸 基廣 様

令和2年5月27日

公益財団法人身体教育医学研究所

監事 北澤 昌雄
監事 伊藤 千枝

私たち監事は、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査致しました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他の重要な会議に出席し、理事及び使用人等からのその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。その方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。